





Red seal impression in seal script, likely the artist's name or studio seal.

Red seal impression in seal script, likely a collector's or owner's seal.

梅花書屋

安谷作



舟も山も時た々々と梅の香
裾りくつりふさふさり寒れ梅
をうらりゆりのよみおの梅の香
梅の月香ふくりに梅もふさふさり
をよれいさかりいさかて山の梅
たや梅のいさかふさふさり梅が
梅うも梅いつのうらり梅岸

為山
一情
廣池
サカキ 秋
セツ 学巴
碓花
士芳

笑か〜あつて通〜垣の梅
小中の舟や多〜焼〜まの
春匂や暖〜子小と落〜森
志〜結〜一〜や和〜ん
或〜口〜りた〜れ〜つ〜る
為〜山〜と〜ろ〜は〜影〜や梅〜月
曲〜ぬ〜と〜撰〜ぬ〜少〜さ〜こ〜備〜め〜れ
と〜し〜あ〜や〜ま〜舞〜せ〜ん〜こ〜ろ〜あ〜ん
朝〜月〜も〜あ〜り〜流〜て〜あ〜ん〜松〜の〜露

写哉
きき
泰山
如泉
字仙
榮也
良可
其意
芳字

人多結つ〜さ〜あ〜ん〜向〜ゆる〜る〜り
月ハ〜ま〜〜い〜い〜ぬ〜お〜ぬ〜や〜意〜の〜梅
長〜果〜さ〜や〜を〜向〜て〜人〜の〜け〜遠〜ひ
谷〜と〜穿〜て〜又〜石〜垂〜れ〜や〜沈〜丁〜を
笑〜あ〜る〜あ〜や〜ぬ〜〜〜〜〜〜〜
左〜義〜也〜此〜流〜る〜〜〜〜〜
圓〜子〜流〜し〜乃〜も〜あ〜ら〜る〜る〜
於〜か〜ら〜ま〜ま〜の〜若〜々〜也〜落〜の〜意

オラ
清氏
清也
牡丹
孝女
字居
一止
エナユ
可常
茶山

きり雪も小雲交りの山あらし
た著やあつめてみてもあつたら
初午やけつふ遠田さりわたり
お梅や夕日のやま書あ戸口
恵りく徳身くろよかん可れ
雲の梅おきふともや一人酒

鳳兮
之壽
侍水
雲景
木蓮
廓風
尹士
玉嶽

休中へる嶽の又命くまの妻
言やまゝあめのかくか敷て唱く
遠織る雲向ふ梅のさかひれ
字来りもたかへる下やま
藤垣くさくさくもてあつてあつて
雲やこかりのよふまの事象
あつりくろ石たんよふかまつるれ
うもやいへてあつてあつて

文哉
兼取
納蘇
本好
四海
月左
静愛
羽海

船塚もあの中へよりまのれ
晴くつや月水の里れま別す
よれそれ万くや芦の首
とつくく夢ふくろくまうり
雪解めの水のふまの春うれ
雪あくくろくた夢や和く人
まくあやまらりくせね音うり
出もたくくむさふまの梅を
今かりんたる戸口や前まあ

李裳
士芳
岨流
指石
花梁
可美
俵山
其良
系山
系山

いで解や小松のうけの吹のら家
そ連一のさうね細やしきの月
年礼や神大吹くむ雪のち

月の歌

りりよそあくく谷まのうめれも

石切吟

つ計くくあたまこ火はくく籠のま

あけ舟

あけ舟やしきくくはぬくく釣籠

三振

サヤ
考谷

東鳩

寫之

新(新) 新(新) 新(新) 新(新) 新(新) 新(新) 新(新) 新(新)
新(新) 新(新) 新(新) 新(新) 新(新) 新(新) 新(新) 新(新)

とこあてもあつたのなまら字め柳
有秋

往くはなれはなまらあし梅の香
未あ

赤畑はすあつたて梅の香
如共

鴻つ汁はたけ解きくはたの雪
三碩

舟と歩り流るはあしや初雲
至壺

雲もあつたやあしや初雲のぬれ
さじ

羽子つゝやたはくはと流るり
梅臣

あつたふあつたふあつたの柳の柳
茶雷

あつたふあつたふあつたの柳の柳
茶雷

あつたふあつたふあつたの柳の柳
茶雷

あつたふあつたふあつたの柳の柳
茶雷

あつたふあつたふあつたの柳の柳
茶雷

あつたふあつたふあつたの柳の柳
茶雷

い〜まもあ〜ひ連〜ゆきむかひ
水口おすつりこさうり萩の曲
朝の曲めついで晴きあふ柳〜れ
鶴かもしとらふおれ〜あをり
まうさあや十〜あさしおふ小百性
折〜え葉梅えぬあ〜をさうり
掃き〜もゆあ〜もれおをさ
能手〜ふ〜い〜あ〜とさるんさ

桃年
経勢
糸田
本丸
桑村
素房
杜鵑
梅屋

引さ〜ふ〜ゆ〜にちさ〜一冊の山平の
書せら〜梅お〜あ〜むほゆり
字〜ひす〜ん〜葉お〜し〜あ〜お〜さ〜り
白鷺の葉あ〜り〜と〜り〜も〜き〜た〜か
あ〜ら〜む〜中〜ふ〜あ〜ゆ〜あ〜ゆ〜物〜籠
ま〜川〜さ〜ら〜〜さ〜あ〜〜ゆ〜の〜ゆ〜ら〜り
引〜も〜子〜代〜あ〜ゆ〜ゆ〜も〜あ〜ゆ〜の〜ゆ〜ら〜り
生け〜お〜と〜あ〜ゆ〜と〜ん〜さ〜あ〜ゆ〜梅〜屋
字〜も〜ゆ〜あ〜ゆ〜ゆ〜あ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ

十六
松隣
梅成
夷宿
麦舎
徐来
子藤
石叟
知地
順有

高きく夜にふくむ世に梅の
汁の寒に彼ものひかりや
ちる梅の影はねちかき持あ
丹蓉

丹蓉

万々やいとしの徳まといはく
まんややまやうと新ふ真の
万々のふくまうしたる砂ま
おと新ふとくは新やあや
万々や扇乃終ふ六日の
若草

若草

とくもあつたる葉や松かき
蓬ふふ勢ひをそり海老の
是のそんはまのつらぬまの
緋ふけう能よふ新や新
やふいへや叶のつらぬま

儿凉

めてたうとあつた梅の影
梅の影をみねふかき
ゆきのや月こころの
凸凹

凸凹

福ら〜れ〜け〜ひ〜焼〜や〜船の肉
〜る〜名〜や〜う〜と〜け〜ん〜め〜の〜山
〜と〜お〜け〜い〜け〜い〜梅の白ひき
お〜た〜く〜り〜の〜味〜を〜く〜る〜お〜と〜目

甫立
巨笠
梅牛
お乳

お水や〜るの〜棒の〜餅や〜家
〜し〜の〜く〜口の〜こ〜ん〜め〜や〜ふ〜り〜と〜ち
〜り〜の〜く〜り〜め〜か〜り〜新〜あ〜り〜田〜畑〜を
〜物〜の〜や〜目〜を〜〜し〜〜り〜梅の香

石餅
此君
菓子
暢室

耳た〜つ〜〜風の〜ら〜も〜も〜所〜居〜り
〜る〜〜と〜〜ある〜田の〜あ〜や〜お〜も〜あ
〜人〜よ〜けの〜塩〜も〜ま〜様〜ま〜様〜木〜葉
〜お〜も〜あ〜や〜〜と〜〜し〜〜り〜ま〜る〜新〜福
この村や〜と〜ん〜と〜煙〜の〜の〜ふ〜〜と〜お
ち〜あ〜た〜け〜お〜く〜る〜を〜も〜や〜お〜ひ〜を〜り

尾全
白狸
羊舌
布衣
春水
鳩子

出代のあ〜ら〜れ〜や〜た〜の〜た〜つ〜う〜り
雪〜お〜く〜〜と〜ま〜な〜し〜む〜め〜松〜鏡

一嘯
東逸

初春のふきふきと昔のやぶら
新月のほきつてあふふか
苗代ふかけへまきう回ふ
持まのあつ田にあつぬ海
湖へくまきをひきく
甲もたなく又まきふむ
まきふまきふまきふ
まきふまきふまきふ
まきふまきふまきふ

七年
之川
池里
掠西
荏夫
世外
知取
一如
芥酒

つねのふきふか
谷とこらや存も
つねのふきふか
松苗とすく
まきふまきふ
まきふまきふ
まきふまきふ
まきふまきふ
まきふまきふ

月琴
左外
里李
四峯
麦鳩
保山
涼風
蝶羽
寸雲

梅の何は法えてきりり初便り
 新あをたうくせふ華より字未柳
 百老のちまよふ中何るとんとう柳
 船うけへよひまうけあり梅の香
 ありくふ物りまうして難美ふ
 宵戸のつてふぬ八月大柳のれ
 着水ととりんすもくさるぬれ
 志ろ歌のありひをたぬぬの昔れ
 小梅とちるる寄るこやまのりふ

吟喃
 双兔
 交河
 鳳尾
 素白
 九逸
 望喃
 研作
 松歌

うくひすのやの柳梅うらも相を色し
 七さあやまき月ふ唐き聖のりし
 雪とまうて勢ひすうるとんとうれ
 雪の梅とらもんくぬ梅く此雪
 小坊まの牛引ゆくぬ梅柳
 きくまうし柳ふまゆり救ん
 抱く子のつむり梅さ人梅身
 ぬ計し及くあて寺の梅んか
 ろりしやう梅ぬかああり梅の墨

鶴雄
 柳五
 金線
 素仁
 田川
 危亭
 白水
 門口
 物水
 佳售

赤いふつらうきききりや
 長きや柳のゆと持たう
 牛つたう人らうなう里の柳
 沈うゆり嘆いそさうり河の柳
 尾うらう人さうさ強うう柳
 とをれあの名とそさうり柳のそ
 と〜あのこさあさやう〜幾
 長柳う長そさううやう夷

鹿吟
 可夫
 梅庵
 田節
 清歌
 柳谷
 帆乃
 東友

鳴き〜ぬいさんゆ〜知〜ん
 川のわたり響のま〜りきを柳
 やう〜くるあうのま〜り初う次
 越う移う小川つ〜つやあな橋
 七子やつちつ〜つ〜るれ欽
 赤いふつらうきききりや
 牛つたう人らうなう里の柳
 沈うゆり嘆いそさうり河の柳
 尾うらう人さうさ強うう柳
 とをれあの名とそさうり柳のそ
 と〜あのこさあさやう〜幾
 長柳う長そさううやう夷

考由
 文峰
 素竹
 九峯
 梅通
 柳苞
 一奇
 孤柳

手とりけりて帯人住まむ世に梅の
きき事やゆきゆき東のめきとけき
さくすくや東のめきとけき
身しゆらり西のきとけきとけき
きくゆきやうきとけきとけき
きくゆきやうきとけきとけき
ゆきゆきやうきとけきとけき
ゆきゆきやうきとけきとけき
ゆきゆきやうきとけきとけき
ゆきゆきやうきとけきとけき

有為
忍部
江月
万丈
菘芳
守竹
百可
桐因
次藤

うらひすくや陸子ゆきとけき
小糸ゆきのまきとけきとけき
起すけりて梅子のめきとけき
梅のきとけきとけきとけき
ゆきゆきとけきとけきとけき
ゆきゆきとけきとけきとけき
ゆきゆきとけきとけきとけき
ゆきゆきとけきとけきとけき
ゆきゆきとけきとけきとけき
ゆきゆきとけきとけきとけき
ゆきゆきとけきとけきとけき

雲角
蓮子
九森
落雪
拾山
勢由
岩字
朗凡
奈矣

地境の垣にとくゆる桂丸
携るごとく伊橋も尾〜新の梅
さくさくの梅にとくゆる日影
うけまゝの梅の枝とゆゑのうゑ
舞ううけまゝゆゑのうゑとあま
あまの梅やゆれをうけまゝ
まじり梅も尾尾をかくも東のまじり
及左まじりのわきとわきと梅
と〜まじり梅も尾尾をかくも東のまじり

東橋
柿丸
西一
熟
龜角
斤丸
丸起
龜橋
竹室

あまの梅も尾尾をかくも東のまじり
あまの梅も尾尾をかくも東のまじり
あまの梅も尾尾をかくも東のまじり
あまの梅も尾尾をかくも東のまじり
あまの梅も尾尾をかくも東のまじり
あまの梅も尾尾をかくも東のまじり
あまの梅も尾尾をかくも東のまじり
あまの梅も尾尾をかくも東のまじり
あまの梅も尾尾をかくも東のまじり
あまの梅も尾尾をかくも東のまじり

香丸
免尺
車陰
松雨
巴水
馬翠
松南
草香
波同

高し入る雪ふもりれ空のま
まのよやうゆきつはあやうら
ニ云本んて畑つてよ殿れ
つげはと狩つあはれやあう
神物ふあうかうてあて梅の空
人のあて梅ひまううてあう

後節

浦江

亥河

亥山

鳥岳

子律

聖徳ふなる

神とてあやうてあやうのあ
梅のあうとてあやうてあう

楓塔

史切

雪の海 葉ハあ終ふも梅の空
吹やうとてあやうてあう
まをうとてあやうてあう
あをむあうのあやうてあう
あはとつ田れのとてあや梅の空
初とてあやうてあやうてあ
あをうのあやうてあやうてあ
あをうのあやうてあやうてあ
あをうのあやうてあやうてあ

柳水

秋水

梅雨

空泉

姑山

自生

石頂

外表

文海

人あふくしきれ橋とさる馬走
いとゆるやそけく寄てふ何れあし
雪のふか角とふしういねさか
公孫

雪くもりつ梅やこころまも信
折かけてあふ人結や藪の梅
、岳梅
龍池

雪くもれせしわつ梅や梅の雪
起ふそころえてあてふの雪
赤南
相梅

去あぬやい無あふんいさ
中り日よりよ免耕知の船
う久ひすのききん枝と動て
あふ茶のとももの結あふん暮家
うぬぬぬ各月比の人出介
黎穂 雪うみ及あきくあり
さやしくのせの梅のよくあぬて
京とゆきにゆくり信千の家
雪あハ船引産のさやうと
立 南 立 南 立 南 立 赤南 南立

風かきくと麦穂ふききり
まろろりきりけりけりの乳色髪
癒けこの比若あ引す家
中合に三日りりきり序口
むろりの真ふ入りけり子連
肘しりん破所しりきり馬対く
木皮りし葉しり株よりの候
文ちりりも毛咲そめて船字く
さふりりん花とちりりきりの葉

南立 南立 南立 南立 南立 南立 南立

出葉やあもほ代つても日のせき
船手のまきふりりしりり
と一そとねあすしむる面かさ
るりりりりりりりりりりりり
おろりりりりりりりりりりりり
はりりりりりりりりりりりりり
芽ふりりりりりりりりりりりり
つち大根とちりりりりりりりり
雪ふりりりりりりりりりりりり

南立 南立 南立 南立 南立 南立 南立

涼し風ふりける 控すそ
現りきし 冬より後のまじき
くくくくすまを辰の味
向仕 舞伎口から月明り
けくくくく居のそかへれそ
せんあハ朝の露と枝み
川のちちくくくく世とある
さくさくふちくく病もあも忘れ
来つき 郊外ふたむむ

南 杖 南 杖 南 杖 南 杖 南 杖 南

ふくくくくかまの障や壁くん
くくくくくく人あの一つさ
ちくくくくくく障りやる風居
くくくくくくのと市に押す
旅巫女の男まさくくくく
くくくくくく廊の産ま
押障りくくくくくくかれ
子とくくくくくくくく
寂土もくくくくくくく

南 杖 南 杖 南 杖 南 杖 南 杖 南

木の根より根をくちやまに
 緋色のひらくまつく目と
 舟多に板のあわて舟をき
 や、きくははのあつた年
 あけのやりのやと大新か
 佛くかかふかかかまのあ
 文もわあもあかあつた
 とうとうとあやあやあ
 枝のあつたあつたあつた

杖 甫 杖 甫 杖 甫 杖

四季限終

水休を断つ舟より此は旅
 雲の折るとはすはや新たる
 日に照れあつたあつた
 移舟の流一もあつたあ
 一とつたりはてりあつた
 傳ゆす細舟やあつたあ
 かなしくあつたあつた

而 后
 碎 雨
 涼 翠
 以 産
 九 宜
 朽 笛
 完 仔

るるよくのつゝぬや標の一木つ
後中々付く〜〜〜知目取
挿すお〜中〜と〜秋のま入ふ
らも月やち〜〜〜移の波
葺山の隈を〜ゆるむ樹のふ
蕨ちと〜知〜ぬ〜疎〜
外内口ふお〜ひ〜
お〜秋田〜人お〜
お〜ふ〜つぬ〜

砂山 はサシ
露行 イヤ
在京 芳洲
寄牛
牛嶋
松圃
雪傍
お雲
英仙

葉のちの〜い〜
つ〜葉や〜
能〜
さ〜
あ〜
ま〜
新〜
文〜

龜橋
壘庭
花六
荃分
興仁
タシコ 一車
西歌
帷一
梅溪

畑と田と一々あるつらね果古き
を次ふ事てもるまなり本種
多仙の事ひゆらり雪のふゆ
イト 橋村

ゆあくとやうりて

向杵の事もすくくくか敷時
口こりやひんかひんかたの天
本ししやすくんで通るは遠
、 、 多あ

追加

人ハハ系こひひ上戸能まの肉
すてま時そらねの情や柳かむ
ささくお枝のすくあき梅えう那
足あしと庭れりーおせいのま
雪もやあへあけらむおからけり
曳のつる大根れまちやや証をけ
わしてあも子残の傍やま来れを
日吉 青山
堤村 山
文来
園五
世外
天晴
八日市 梁賀

新と云ふは、一志向ふゆきく
 印梅や気力此尺の枝く
 舟楫やかきくわと此法き此赤
 空と氣也わとけ此色く
 百此りる當きくゆく一
 ゆきくふ枝此伸ゆく
 まく梅此くすきく一

在累
 尾 末 文
 藝 陳 彦
 播 尺 西
 南 明
 無 欲

壬戌の妻

文久三

